

ラジオコントロールの審判：位置取りの枠組み

注：

- ・各々の審判は、フリートの 1 / 4 に 1 を加えたのを担当します。20 艇のヒートでは、審判は 6 艇のグループを見ます（審判はオーバーラップすることになります）。
- ・もし審判が 3 名の場合、ファーストラップでは U4（訳者注：審判 4）を取り止め、以降では U2 を取り止める。もし 2 名の場合、U2 と U4 を取り止める。
- ・もし 2 ラップ超える場合は、ポジション 6 から 8 を必要な回数だけ繰り返す。

Position1：スタート前およびスタート

U1 は最も岸寄り（near）の艇達を担当する。U2 は艇達の中央（middle）そして U3 は最も遠い（far）艇達を担当する。U4 は、ラインから後方に離れた（back）残りの艇を担当する。

スタートにおいては、U1 はライン上の艇の最も岸寄りのグループを審判する。U2 はライン上の中央のグループそして U3 は最も岸から遠いグループを審判する。U4 はスタートにおける 2 列目の艇を担当する。

Position2：最初の風上航

艇達がスタートラインを離れると、審判達は同じ構成で残り、フリート（艇団）が前進するのを見守ります（監視します）。それぞれの領域を審判している間、U1 と U2 は、第 1 マーク回航に備えて、おのおの第 1 グループと第 2 グループを引き継ぐために U3 の前方に位置を進めることを考える必要があります。U4 は第 1 ラップの後方グループを担当します。

Position3 および 4：風上マーク回航

第 1 マークへアプローチしながら（近づきながら）、U1 は第 1 グループに、U2 は第 2 グループに、U3 は第 3 グループに切り替えます。U4 は最終グループに残ります。

審判員は、U1 が U2 に、U1 が見ている最後の艇を U2 に伝えることができる近さにいる必要があります；同様に U2 は U3 に伝えます。

艇達が回航し始めると、全審判は、彼らの艇達が第 1 第 2 マークを回航するのを注視するために、第 1 マークの位置まで進みます、そして彼らの艇が第 2 マークを離れたら速やかに風下に歩き始めます。P4 から先は、審判達は彼らのグループの先頭艇の位置で歩かなければなりません。

Position5：ゲートへのアプローチ（近づく）および回航

艇達がゲートへの最終アプローチのとき、U1 と U2 はゲートに近づき回航する全艇を見る。U1 は通常スターボード側のゲートマークを選び、U2 がもう一方を見る（ほとんどの艇が一つのマークを選ぶときには、審判達は速いペースの回航に対応できるよう、協働する必要がある）。U3 と U4 は、風下航艇達と行違ふときから、風上航での先行艇を交換します。

Position6：第 2 風上航

艇達の回航が完了したら、U3 は前の遠いサイド、U4 は前の近いサイドを担当します。U1 と U2 は後方の風下ゲートと同じサイドを担当します。

Position7：第 2 風上回航

2 回目に風上マークを回航しようと、艇達がアプローチするとき、U3 および U4 は上マーク回航を見る。U1 は第 1 マークを離れ第 2 マークを回航する最初のグループを見る。U2 は同じく第 2 グループを見る、そして U3 と U4 は、第 1 および第 2 マーク周囲の彼らのグループの追従に戻る。全審判は風下航では彼らのグループを追って行く（彼らのグループをフォローする）。

#### Position8 : 第 2 風下ゲート回航および最終風上航

2 回目の風下ゲートの回航は Position5 の繰り返しである、しかし最終風上航が始まったときに、もし艇達がかかり広がったならば、U4 が第 1 グループを捕らえ、U3 は第 2 グループを、U2 は第 3 グループを、U1 は第 4 グループを、それぞれのグループがフィニッシュするまで、見る。